

一番を目指す子どもの環境づくり  
～山北らしい認定こども園～

**福祉教育常任委員会**

瀬戸(顯)・小栗・藤原

石田・佐藤・鈴木・池谷

# 山北らしい認定こども園

子ども子育て支援新制度がスタート！



山北町では平成29年度から  
山北幼稚園・わかば保育園を一体化し  
認定こども園とする考えです。

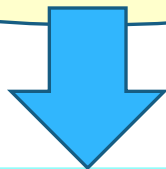
# 認定こども園って何？



保護者が働いている、いないにかかわらず  
受け入れる施設

教育・保育及び家庭における支援を  
一体的に提供する施設

山北町の示す  
認定こども園は



- 山北幼稚園とわかば保育園が連携
- 3歳～5歳までの幼児が同じ施設で過ごす
- 0歳～2歳までのニーズに対応
- 幼児と園児の交わりによる社会性の育み

議会の考え

小学校へつなげる基礎を培う  
幼児教育の充実が必要

- 独自のカリキュラムが必要
- 楽しく学べる環境の整備が必要

- 利用者のニーズに応える  
施設とすることが必要

## 独自のカリキュラム

➡ こども園の歌をつくる

## 楽しく学べる環境の整備

➡ 自然の中で親子が親しめる環境整備

## 利用者のニーズに応える施設

➡ 一時預かり、時間外等のニーズに対応

# まとめ

## 家庭

家庭における子育て  
支援

## 地域社会

地域社会や関係機  
関との連携

就学前子どもの  
教育の充実

## こども園

山北らしい教育・保育の充実

0歳児から就学前までの一貫した教育  
及び発達の連続性を考慮した保育の実践

## 山北町のめざす子どもの姿

- ◆ 意欲を持ち続ける子
- ◆ 人とかかわる力や思いやりのある子
- ◆ 運動に親しみ、健康で笑顔あふれる子
- ◆ 自ら進んで自己表現できる子
- ◆ 国際感覚と郷土に愛着を持つ子



～山北町国民健康保険の  
現状・課題についての  
議会の審議状況～

福祉教育常任委員会

# 山北町の国保の審議経緯

- 23年度で基金残高は0円
- 一般会計からの繰入金で補填
- 受益者負担の原則で値上げ
- 町民への周知不足
- 県広域化と国保財政の健全化

平成23年度 県から1億円を借り入れ



平成24年度 保険税率の15年ぶりの改正



平成27年度 保険税率のさらなる改正

# 平成24年度第1回目の値上げ！ 議会での議論は

議会

町

国保健全化には、どの位の値上げが必要なのか。  
固定資産の評価内容も検討すべきではないか。

保険者別上位5疾病の内容分析とこれに対する町の対応は。

値上げ説明前に、問題点を町民に示すべきだ。  
例えば、ジェネリック医薬品利用促進、町民の健康作りの啓発、収納率1%の向上等具体的な改善計画を示さなければ、議会として認めがたい。

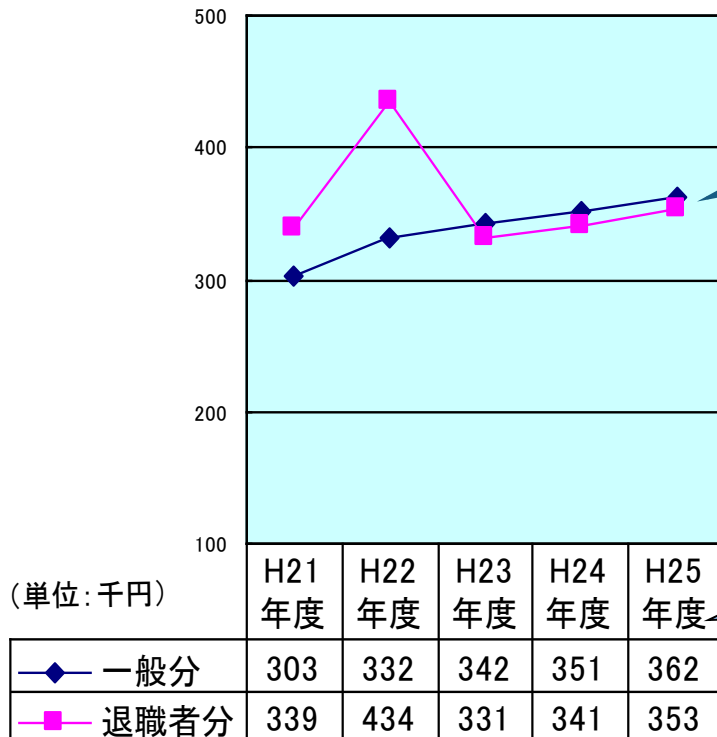
不足分を補うには、1.5億の借り入れをした上で、45%の値上げが必要。  
24年に15%、27年に15%、30年に15%、段階的に行いたい。

高血圧性疾患、糖尿病が約28%。  
生活習慣病の予防対策を重要課題として位置づけ、健康づくり事業等町独自の事業を展開する。

特定健康診断の受診率が低い。  
保健指導を強化し、向上につなげる。  
医療費の抑制、保険料の値上げ、一般会計からの繰り入れで乗り切りたい。

# 国保被保険者一人当たり医療費は

一人当たりの医療費の状況



医療費は右肩上がりに上昇を続けている

国保の加入者は  
1960世帯:3352人  
(26年1月現在)

# 予算から見た国保の現状(歳入・歳出)

止まらない  
一般会計からの繰り入れ

県から  
追加の借金

(単位:万円)

<歳入>	23年度	24年度	25年度	26年度 (予算額)	27年度 (推計値)	28年度 (推計値)	29年度 (推計値)
国保税	28,560	31,090	31,650	32,880	36,410	36,410	36,410
一般会計繰入金	7,050	7,780	10,780	8,490	9,600	10,000	10,000
町債	10,000	0	2,000	2,000	0	0	0
繰越金・他	850	1,880	1,090	530	500	500	500
国・県交付金	90,800	99,580	99,570	102,390	117,800	118,000	120,000
歳入合計	137,260	140,330	145,090	146,290	164,310	164,910	166,910

<歳出>	23年度	24年度	25年度	26年度 (予算額)	27年度 (推計値)	28年度 (推計値)	29年度 (推計値)
保険給付費	96,020	96,350	99,440	98,770	100,000	100,300	100,500
保健事業費	1,070	1,040	1,110	1,450	1,600	1,600	1,600
公債費			2,000	2,000	2,400	2,800	2,800
各種拠出金:	34,470	37,210	38,330	40,490	57,680	58,000	60,000
総務費	2,530	2,250	3,250	3,140	3,300	3,300	3,300
その他	1,440	2,460	820	440	500	500	500
歳出合計	135,530	139,310	144,950	146,290	165,480	166,500	168,700
実質収支	1,740	1,020	130	0	-1,170	-1,590	-1,790
単年度収支	15227	-7160	-8880	-130	-1,170	-420	-200

増え続ける  
保険給付費

改善されな  
い収支

# 平成26年度第2回目の値上げ！ 議会での議論は

## 議会

27年度税率改正時に、所得割、固定資産割りを見直す考えはあるのか。

値上げによって滞納は増えないか。  
医療費削減の方策はどうか。

値上げしても赤字になる。今後の見通しはどうか。

## 町

年金所得が下がり、評価額も落ちてきている。所得割、資産割制度を続けていく。

固定資産に対する資産割を下げる等配慮している。

特定検診受診率を上げる等、疾病予防のための事業に力を入れている。

29年度までは一般会計から借入金利息等を繰り入れ、健全な運営が出来るよう努力する。

# 国保税 今後の見通しは

議会の意見



- 町民一人一人の健康への意識向上
  - ➡ 健康づくり事業のさらなる充実
- 医療給付費の削減
  - ➡ ジェネリック医薬品利用の促進
- 県下トップクラスの収納率のさらなる向上
  - ➡ 100%を目指し努力する

# 国保税 今後の見通し

国の方針により、  
2018年に県へ移管



町民一人一人が健康への意識を高め  
健康づくりに取り組むことが、国保税適  
正化への最重要課題です。